

セメント産業における持続可能な発展のための活動



WBCSDセメント産業部会における活動

当社は地球温暖化問題を含め、持続可能な発展に向けた国際的な取り組みに参加しています。特にWBCSD*のセメント産業部会(CSI=Cement Sustainability Initiative)ではコアメンバーとして2000年より活動してきました。

CSIは、世界中のステークホルダーとの対話を踏まえたセメント産業の持続可能性に関する調査研究に基づいて「自主行動計画」を策定し、2002年7月にコアメンバー10社の共同コミットメントとして公表しました。

この「自主行動計画」は20年間のビジョンで作成され、5年ごとに活動を見直すことになっています。2007年までの5年間には6つの優先課題それぞれについて作業部会を設定し、非財務的指標であるKPI(主要業績評価指標)や、世界で共通して使えるツ

ルとガイドラインを開発しました。

2007年4月には温暖化対策作業部会を東京で開催し、(社)セメント協会および石灰石鉱業協会と情報交換を行いました。新たにコンクリートリサイクルなどのテーマを加えて、さらに活動を広げて取り組んでいきます。



温暖化対策作業部会 東京での情報交換会

* WBCSD(持続可能な発展のための世界経済人会議):約200社の国際的な企業をメンバーとした経済団体。経済、環境、社会の調和した持続可能な発展(SD)のために様々な活動を行なっている。
SD(Sustainable Development)とは、「将来のニーズを満たす能力を損なうことなく、現在の世代のニーズをも満たすこと」(国連のブルントラント委員会報告書「われら共有の未来」1987年)。

2002-2007年に取り組んだ優先課題

- ・気候変動の防止
- ・原燃料の利用
- ・従業員の安全衛生
- ・排出物質の削減
- ・地域社会への影響
- ・コミュニケーションと報告

CSIの自主行動計画をはじめとする活動内容や開発したツールなどの詳細は、当社ホームページからダウンロードできます。

2006年 CSIのKPI(主要業績評価指標)による主な評価項目

CO ₂ 排出		ネット排出*1	総排出
CO ₂ 排出原単位*2	(kg-CO ₂ /t-セメント)	764	784
CO ₂ 排出量*2	(千tCO ₂ /年)	38,339	39,327

*1:CO₂総排出から代替燃料由来のCO₂排出を差し引いたもの

*2:イー・アール・エム日本(株)より第三者保証を受けている

安全衛生指標			備考
休業災害件数	(件)	13	直接雇用の従業員
休業災害度数率	(-)	1.21	直接雇用の従業員(100万人時あたり)
休業災害件数	(件)	21	間接雇用の従業員(協力企業と下請け企業)
死亡災害件数	(件)	0	直接雇用の従業員
死亡災害度数率	(-)	0	直接雇用の従業員(1万人あたり)
死亡災害件数	(件)	1	間接雇用の従業員
死亡災害件数	(件)	0	第三者(雇用関係になし)